

## 私立高校推薦結果伝達のための3学年集会に参加して…

11月30日(木)の放課後、多目的室において、「私立高校推薦結果伝達のための集会」を行いました。この集会は、校長推薦を受ける重みを自覚させ、今後の中学校生活や進学後も鏡石中学校の代表で進学したという自覚のもと「最善を尽くし」ていくことを考えさせることをねらいとしています。

校長からは、「使命」「想像」「感謝」について、以下のことを伝えました。

☆使命…人生100年時代、中学3年生のここから先(入試までの期間)、自分の「命」を何に「使」うべきか。今は、自分の進路成就に向けて、ひたすら勉強や自分磨きに「命」を「使」うとき。

☆想像…自分の言動(ことばや行動)が、その後どのような影響をもたらすか、「想像」できる人になること。よい言動もわるい言動も最後はすべて自分に返ってくること。

☆感謝…入試という舞台に立つということは、多くの方々(ご家族・先生方)に支えられているからこそできること。感謝の気持ち・思いを「形」「姿」として表していくこと。

その後、学年主任、生徒指導担当からの話に続き、進路指導担当から「今後の準備」について説明がありました。いよいよ出願まで秒読みとなりました。入試は「総力戦」であり、「団体戦」です。鏡中スタッフ一丸となり、子どもたちの手元に「サクサク」が届くよう最善を尽くしてまいります。



## 学びの習慣(サイクル)を確立する教育活動の充実をめざして

鏡石中学校では、今年度「自ら学び、学びの習慣(サイクル)を確立する教育活動の充実」を研究テーマに設定し、次の2つの視点をもちながら、研修を進めています。

- ①授業における学習サイクルの確立を目指す視点
- ②「授業⇔家庭学習」における学習サイクルの確立を目指す視点

1年1組での一人一授業  
(英語)の活動のようす

このテーマや視点に基づき、「一人一授業」(教員が最低1回授業研究すること)を推進しています。12月初旬までにほぼ全員が「一人一授業」を終え、研修委員会では、「一人一授業」の成果と課題、研究のまとめ、検証等の作業に入っています。

学力向上には欠かすことのできない“学びの習慣(サイクル)”。授業や授業⇔家庭学習におけるサイクルを確立するべく、教職員一丸となって授業づくりに取り組んでいます。やはり大切なのは、家庭における“学びの習慣”の確立と考えます。そのために必要なのは、「自己マネジメント力」。自分で自分を律する(コントロール)ことができれば、自ずと学力は向上していきます。自己マネジメント力の向上のためには…①優先順位をつけること ②時間の使い方を考えること の2つが必要です。ご家庭でも「自己マネジメント力」の向上にご支援・ご協力くださいますようお願いいたします。



## 正しい“礼”に「美しくあれ」が現れていました!



11月24日(金)の「町学力向上授業研究会」の日のことです。2年生のあるクラスから一番最後に退室した男子生徒が、誰もいない教室に向かって一礼をしたのです。その礼は、最敬礼に近く、とても美しいものでした。

その礼にどのような意図があったのかは分かりませんが、一日お世話になった教室に一礼をする姿は、校訓の「美しくあれ」そのものでした。

美しい礼(の形)は、人の心を洗い、感動を与えるものだ、と改めて認識した次第です。振り返ると、大人でもなかなか正しい礼・挨拶はできていないものです。「我以外皆我師」…大人でも子ども(たちの姿)から学ぶことは、たくさんあるはず。その男子生徒のように、心を込めて、形正しく、笑顔を添えて礼(挨拶)をしていきたいと思えます。

